

Bridgestone E8 Commitment



Bridgestone E8 Commitment to Our Future

未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。
ブリヂストンはコミットする。

ブリヂストングループは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、2022年に企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。ブリヂストンらしさにこだわり定義した「E」で始まる8つの価値(Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment)を、ブリヂストンらしい「目的」と「手段」で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットするものです。

ブリヂストンのサステナビリティの考え方

当社グループは創業以来、変わりゆく社会のニーズに対応し、それぞれの時代において一人ひとりの安心・安全な移動や暮らしを支え続けるために事業を拡大・進化させてきました。活動の根底にあるのは、「最高の品質で社会に貢献」、1968年に社是として制定され、これまで変わることなく受け継がれてきた当社グループの使命です。これは、創業者・石橋正二郎の「単に営利を主眼とする事業は必ず永続性なく滅亡するものであるが、社会、国家を益する事業は永遠に繁栄すべきことを確信するものである」という事業観に基づき、現在のサステナビリティの考え方にも通じるものです。

社会の変化を先取りし、変化をチャンスに変え、事業活動・社会貢献活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することは、「最高の品質で社会に貢献」を使命とする当社グループの果たすべき役割・責任だと考えています。

ブリヂストンのCSR・サステナビリティ活動の歩み

ブリヂストングループは、使命を具現化し、グローバルで軸がぶれないCSR活動を推進するための「共通言語」として、2007年にCSR「22の課題」を設定しました。「CSRは経営そのもの」という考え方のもと、環境保全や品質、安全など企業活動の根幹となる22の取り組みをグローバル共通の経営課題として中期計画に織り込み推進することで、CSR活動の基盤を構築することができました。そうして築き上げたものを礎として、グローバル企業として社会期待に応え、よりよい社会の実現に貢献していくための指針として2017年にグローバルCSR体系「Our Way to Serve」を策定し、「モビリティ」、「一人ひとりの生活」、「環境」を3つの重点領域として特定することで、グローバルで整合性を取りつつ各地域が主導する「グローカル(グローバル×ローカル)」なアプローチで活動を進化させてきました。その成果として、ブリヂストンがその強みを活かし、価値創出と変革に向けたパートナーシップを構築する領域が明確になった今、「Bridgestone E8 Commitment」を新たに掲げ、次のステージに向けた取り組みをさらに進化させていきます。

Bridgestone E8 Commitment

ブリヂストングループは2020年を、1931年の創業、1988年のファイアストン社買収を契機とした「第二の創業」に続く、「第三の創業」Bridgestone 3.0の初年度とし、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして持続的に社会価値、顧客価値を提供している会社へ」を掲げました。その実現に向けて、サステナビリティを経営の中核に据え、中長期事業戦略構想を策定、取り組みを進めています。そして、2020年から2年間のコーポレートransフォーメーション(CX)を経て構築してきた変化に対応できる「強い」ブリヂストンを基盤に、変革をさらに加速するにあたり、未来からの信任を得ながら経営を進める軸とするのが「Bridgestone E8 Commitment」です。

「Bridgestone E8 Commitment」の8つの「E」は、当社グループの使命、企業理念や、創立から91年の歴史の中で培ってきたDNAが反映されていると共に、中長期事業戦略、ビジョンにも合致し、当社グループの企業活動全体、将来の可能性を包含し、広がりを示すものです。



Energy | カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする

当社グループは2050年のカーボンニュートラル化に向けて、グループの生産拠点における再生可能エネルギー化を加速するのはもちろん、EVに最適なタイヤの開発や、当社グループの小売拠点網を活用したEV充電ネットワークの拡充など、EVの普及を足元から支えています。さらに、Tiremetricsを活用した安全で効率的な運行管理など、商品やソリューションの提供を通じてお客様がタイヤを「使う」段階でのCO₂削減にも貢献するなど、タイヤを「創って売る」「使う」、原材料に「戻す」の各段階、バリューチェーン全体でCO₂削減、カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現へ向けた取り組みを加速していきます。



Ecology | 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする

当社グループでは2050年の100%サステナブルマテリアル化に向けて、リトレッドやリサイクル事業のさらなる推進に加え、環境性能の高い素材やリサイクルしやすいゴムの開発など、素材の可能性を追求し、「創って売る」「使う」「戻す」の各段階、バリューチェーン全体でのサーキュラーエコノミーの実現、資源生産性の向上に向けた取り組みを加速していきます。また、日本における「エコピアの森」に代表される森林保全活動や、その他生物多様性の保全活動をグローバルで推進し、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐための取り組みを進めています。



Efficiency | モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする

タイヤ、リトレッド、メンテナンスにデジタルツールを組み合わせた運送ソリューションなど、「断トツ商品」、「断トツソリューション」を中心とした、バリューチェーン全体で安全で効率的な運行を支え、運送事業者などのお客様、ブリヂストン双方のオペレーションの効率化、生産性を最大化する取り組みを加速していきます。



Extension | 人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする

「断トツ商品」、「断トツソリューション」を中心としたバリューチェーン全体での活動により、移動や産業を止めないこと、そのための技術やビジネスモデルなどの継続的な革新、イノベーションを実現していきます。例えば鉱山ソリューションでは、「断トツ商品」とメンテナンス、データに基づく最適なタイヤの使い方の提案により、過酷な鉱山現場の日々のオペレーションをサポート。また、月面探査ミッションなど、人類の夢・移動の革新を支えるプロジェクトにも挑戦しています。



Economy | モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする

「断トツ商品」、「断トツソリューション」を中心に、バリューチェーン全体でお客様、ブリヂストン双方のコスト最適化、経済価値を高める取り組みを推進しています。例えば航空ソリューションでは、デジタルを活用したタイヤの摩耗、耐久予測により、精度の高い計画的なタイヤ交換を可能にすると共に、ホール・タイヤ在庫の削減や航空機整備作業の効率化による経済価値向上を実現しています。



Emotion | 心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする

スーパーGTや2輪の鈴鹿8時間耐久レース、Indyなど、走るわくわくを提供し続け、モータースポーツ文化の発展に貢献しながら、タイヤの限界性能を支える技術の研鑽にも注力しています。自転車やゴルフボールなど、スポーツを通じても、ワクワク感、心動かす体験を提供し、様々な挑戦を支える取り組みを推進していきます。



Ease | より安心で心地よいモビリティライフを支えることにコミットする

ブリヂストンの大原則である「タイヤは生命を乗せている」。乗用車用タイヤ、航空機タイヤや、免震ゴムなどの高性能で高品質な商品の提供はもちろん、安全教育や交通安全活動など、社会課題への取り組みを通じて、人々の安心で心地よい移動、暮らしを支えています。



Empowerment | すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする

ダイバーシティ、エクイティ＆インクルージョン(DE&I)の推進、アクセシビリティの向上など、地域社会、人々の生活に寄り添い、様々な社会課題の解決に向けた取り組みにも注力しています。例えば、パラアスリート支援では、義足用ソールや車椅子用タイヤの開発など、自分らしいスタイルでスポーツを楽しめるよう足元からサポート。また、ソフトロボティクス事業では、少子高齢化による労働力不足やCOVID-19感染拡大の影響による非接触ニーズや自動化へのニーズを踏まえ、ゴムの力ですべての人の生活を支えることに挑戦しています。

「Bridgestone E8 Commitment」は、変革へ向けたブリヂストンらしい8つの進むべき方向性を示すベクトルとなります。これを軸に、経営戦略の強化とコーポレートカルチャーの変革に取り組みながら、グローバル13万人の従業員と共に、ビジョンに掲げる「サステナブルなソリューションカンパニー」へのジャーニー(歩み)を加速していきます。さらに、「Bridgestone E8 Commitment」を通じて、多くのステークホルダーの皆様に共感いただき、社会、パートナー、お客様と共に新たな価値を創造する共創へつなげることで、持続可能な社会を実現し、支えることができると考えています。

当社グループは、これまで以上に世界の課題と可能性に向き合っていきます。未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために、皆様と一緒に。